

鷺宮美幸

Washimiya Miyuki Piano Recital

ピアノ名曲リサイタル

光がダンスを照らすとき

Program

- シャミナード：バレエの調べ 作品30
ドビュッシー：前奏曲集 第1巻より 第5曲「アナカプリの丘」
ドビュッシー：ベルガマスク組曲より 第3曲「月の光」
ドビュッシー：子供の領分 ゴリウォークのケーキウォーク
デュティユー：ピアノ・ソナタ 第3楽章「コラールと変奏」
ショパン：マズルカ ニ長調 作品33-2
ショパン：ワルツ 12番 へ短調 作品70-2
ショパン：ワルツ 1番「華麗なる大円舞曲」変ホ長調 作品18
ショパン：軍隊ポロネーズ 作品40-1
ドゥーセ：ショピナータ
ガーシュイン：ソングブックより
スワニー / 私の愛しい人 / アイ・ガット・リズム

2025. 5.17 **土** 14:00開演 (13:30開場)

稲城市立 iプラザホール (京王線若葉台駅徒歩1分)

一般 前売り ¥2,700(当日¥3,000) / 学生 ¥2,000

お問い合わせ/チケット取り扱い

スガナミ楽器(株)多摩店 042-375-5311

[後援] スガナミ楽器(株) / 桐朋学園音楽部門同窓会



鷺宮美幸 Washimiya Miyuki

7歳よりピアノ、作曲、ヴァイオリンを始める。その後、桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学ピアノ科入学。

在学中、フランス音楽界の第一人者H、ピュイグ＝ロジェ氏の推薦で、パリに留学。帰国後、同大学を卒業。

第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM国際コンクール・室内楽部門第2位、日本室内楽コンクール第3位、国際ピアノデュオ・コンクール2台4手部門第2位(日本人最高位)など、多くのコンクールに入賞するとともに、トゥール国際アカデミーでは2年連続で最優秀受講生に選ばれた。

2013年には、Kris Foundationに招聘され、シンガポールで Metropolitan Festival Orchestra、指揮Chan Tze Lawとグリーグのピアノ協奏曲、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を一夜で演奏し「The Straits Times」で絶賛された。2016年、第8回World Peace Classic Concertでは、新田孝指揮、Nippon Symphonyとラヴェルのピアノ協奏曲を演奏し、雑誌「音楽現代」で、“真の意味で実力者”と評価され、また、2017年にラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を演奏し、「ヴィルトゥオーゾ」と評価された。

「ピアノ&ピアニスト」(音楽之友社、2018年1月発行)の“日本の名ピアニストたち”にも選ばれた。

「音楽の友」2025年2月号の特別企画「忘れがたいこの1曲! 2024」で、昨年10月稲城市立iプラザホールでヴァイオリニストのクリストフ・エーレンフェルナー氏と演奏したシューベルト「幻想曲」D.934が選出された。

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のクリストフ・ハルトマン、イ・ムジチ合奏団のマッシモ・パリス、ヴィト・パテルノステル、またジャン・ワン、マクサンス・ラリーユ、レ・ヴァン・フランセのジルベール・オダン、ミッシェル・マイスキーなど、国内外の著名なソリストと共演。

NHK・BS「ぴあのピア」、NHK・FM「名曲リサイタル」にソロで、また室内楽、伴奏でも度々出演した。

これまでにピアノを寺西昭子、村手静子、T.パラスキヴェスコ、高木茉莉、松浪佳子の各氏に、室内楽をJ.M.ダマーズ、三善晃、H、ピュイグ＝ロジェ、クリスチャン・イヴァルディの各氏に、チェンバロを遠藤陽子氏に師事。

現在、ソリスト、室内楽奏者、オメガ・ピアノトリオ(Vn.松実健太、Vc.唐津健)、いさなみピアノトリオ(Vn.篠崎功子、Vc.青嶋直樹)メンバーとして活躍。

CD「記憶の風景」(Pf.鷺宮美幸/ALCD-7291コジマ録音)、ライヴ録音のCD「鷺宮美幸ピアノ・リサイタル」(Pf.鷺宮美幸/ALCD-9235コジマ録音)、「ワッシー・ファンタジア」(Pf.鷺宮美幸/DQC65パスティエル)、「ショスタコーヴィチ」(Vla.マッシモ・パリス、Pf鷺宮美幸/C00090ダ・ヴィンチ・クラシック)など数多くCDをリリースし、いずれも高い評価を得ている。

オフィシャルサイト ▶ <https://www.miyuki-washimiya.com/>

